

平成24年 (2012年) 3月期 決算



現況と今後の展望(業績説明会資料)



(千日前店：大阪市中央区難波)
2012年4月27日オープン

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2012年5月11日

2012年3月期 連結決算の概要



		単位	2011年3月期 (2010.4~2011.3) 前期実績	2012年3月期 (2011.4~2012.3) 当期実績	増 減
店 舗	期末店舗数	店舗数	109	110	+1
	期中店舗稼働月数	月数	1,275	1,314	+39

(単位未満は切り捨て表示)

損 益 (P L)	ボウリング	億円	310	324	+14
	アミューズメント	億円	352	364	+12
	カラオケ	億円	67	82	+15
	スポッチャ	億円	87	94	+6
	その他	億円	26	30	+4
	総売上	億円	843	895	+52
	営業利益	億円	114	160	+46
	経常利益	億円	69	114	+45
	売上高経常利益率	%	8.2%	12.8%	+4.6%
	※ 当期純利益	億円	△126	27	+154

※ 当期純利益の計算式：

【前期】

経常利益69.2億円 - 特別損失272.8億円 + 法人税等による影響76.7億円 = 当期純利益△126.7億円

特別損失の内訳・・・資産除去債務費用31.7億円、出店計画変更損失等232.4億円、災害損失3.6億円、固定資産（アミューズ基板他）除却損等4.9億円

【当期】

経常利益114.8億円 - セール・アンド・リースバックによる損失50.3億円 - 減損損失2.9億円 - 法人税等による影響33.6億円 = 当期純利益27.8億円

【2012年3月期のセール・アンド・リースバック実施7店舗】

「町田店」、「板橋店」、「千日前店」、「川崎大師店」、「鹿児島宇宿店」、「横浜駅西口店」、「堺中央環状店」

2012年3月期 連結決算の分析

			2012年3月期 (2011.4~2012.3) 計画	2012年3月期 (2011.4~2012.3) 実績	差 額	備 考
損 益	ボウリング		325	324	△0	※1 【経常利益の計画差の要因】 ●計画額 110億円 ・営業外費用の減少 +4億円 (資金調達費用と支払利息の減少) ●実績額 114億円 ※2 【当期純利益の計画差の要因】 ●計画額 33億円 ・法人税率の変更による影響 △6億円 ●実績額 27億円
	アミューズメント		368	364	△3	
	カラオケ		81	82	+1	
	スポッチャ		90	94	+4	
	その他		31	30	△0	
	総売上		895	895	+0	
	売上原価		717	717	+0	
	売上総利益		178	177	△0	
	販売費及び一般管理費		18	17	△0	
	営業利益		160	160	+0	
	営業外損益		△50	△45	+4	
	経常利益		110	114	+4	
	売上高経常利益率		12.3 %	12.8 %	+0.5	
	特別損益		△50	△53	△3	
	税引前当期純利益		60	61	+1	
	法人税等		27	33	+6	
	当期純利益		33	27	△5	※2

2013年3月期 連結四半期 計画



2013年3月期 (2012年4月～2013年3月)

(単位:億円 単位未満切り捨て表示)

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	通期
	計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
総売上	211	235	447	203	249	453	900
売上原価	178	188	367	186	187	373	740
売上総利益	32	46	79	17	62	79	159
販売費及び一般管理費	4	4	8	4	4	9	18
営業利益	28	42	71	12	57	70	141
営業外損益	△10	△10	△21	△9	△10	△20	△41
経常利益	18	31	50	2	47	50	100
売上高経常利益率	8.6%	13.5%	11.2%	1.1%	19.2%	11.0%	11.1%
特別損益	△1	△24	△25	△1	△49	△50	△75
税引前当期純利益	17	7	25	1	△1	0	25
法人税等	△8	△4	△12	△1	△0	△2	△15
当期（四半期）純利益	9	3	12	△0	△1	△2	10
既存店舗売上高前年比(国内)	△8.6%	△5.6%	△7.1%	△3.8%	△0.3%	△1.9%	△4.6%

(注) ①本社関連の費用です。

②大部分が支払利息です。

③内訳：70億円（セール・アンド・リースバックによる損失）、5億円（アミューズメント基板の除却等）

既存店舗のセール・アンド・リースバックを実行した際には、業績に与える影響を含めて随時開示する予定です。

2013年3月期 連結計画 ① 出店と損益



		単 位	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画	増 減
店 舗	新規出店数	店	1	※① 6	+5
	総店舗数（期末）	店	110	116	+6
	【内訳】 所有店舗	店	63	53	△10
	賃借店舗	店	47	63	+16
	総店舗稼働月数	月数	1,314	1,354	+40
損 益	ボウリング	億円	324	319	△5
	アミューズメント	億円	364	359	△4
	カラオケ	億円	82	83	+1
	スポッチャ	億円	94	106	+11
	その他	億円	30	31	+0
	総売上	億円	895	900	+4
	営業利益	億円	160	141	△19
	経常利益	億円	114	100	△14
	売上高経常利益率	%	12.8%	11.1%	△1.7%
※②	当期純利益	億円	27	10	△17

※① 2013年3月期の新規出店・・・国内3店舗+米国3店舗（詳細はP13を参照下さい）

※② 当期純利益の計算式：

【2012年3月期実績】

経常利益114.8億円－セール・アット・リースパックによる損失50.3億円－減損損失2.9億円－法人税等による影響33.6億円＝ 当期純利益27.8億円

【2013年3月期計画】

経常利益100億円－セール・アット・リースパックによる損失70億円－その他アミューズ基板の除却等5億円－法人税等による影響15億円＝ 当期純利益10億円

2013年3月期 連結計画 ② キャッシュ・フロー



(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
資金	当期純利益	億円	27	10
	法人税等調整額（引当・納付・還付を合算表示）	億円	41	10
	セール・アンド・リースバックの実施による 資金の流出を伴わない損失等	億円	52	75
	配当金額	億円	△19	△19
	減価償却費（リース取引除く）	億円	84	67
	簡易キャッシュフロー	億円	187	143
	設備投資額	億円	△25	※① △29
	既存店舗の売却による資金の増加	億円	224	※② 170
	保証金の流動化による資金の増加	億円	15	-
	簡易フリーキャッシュフロー	億円	401	284
	現預金残高	億円	294	257
	有利子負債残高	億円	1,109	787
	実質有利子負債残高	億円	814	529

※① 2013年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約19億円・・・新規店舗（10億円：日本国内3店舗、9億円：米国3店舗）
- ・約10億円・・・既存店舗（一部の改装やアミューズメント基板（キット）購入他）

※② セール・アンド・リースバック（10店舗前後）の実行を見込んだものです。

店舗数・損益状況(連結)と既存店売上前年比(国内)の推移



◆店舗・損益の推移(連結ベース)

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1	6
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110	116
【内訳】所有店舗	29	42	49	61	69	69	63	53
賃借店舗	29	31	34	33	36	40	47	63

(注) 2006年3月期末の所有店舗には、2007年3月期以降に連結した会社が所有していた店舗を含んで表示しております。(億円未満は切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	895億円	900億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	160億円	141億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	114億円	100億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	12.8%	11.1%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	△126億円	27億円	10億円

(注) 2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載しております)。

◆既存店売上前年比の推移(国内店舗のみ)

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	△6.5%	△4.0%	△3.7%	+0.4%	△5.7%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	△6.8%	△10.8%	△9.8%	+0.0%	△1.1%	△6.4%
カラオケ	△4.5%	+4.0%	△1.2%	△7.3%	△13.1%	+3.4%	+15.8%	△4.0%
スポッチャ	-	-	△16.1%	△9.8%	△9.2%	△4.5%	+7.5%	+5.7%
その他	△11.3%	△9.2%	+13.2%	+11.4%	△3.9%	△14.5%	+1.3%	△4.0%
総売上	+11.6%	+2.0%	△4.0%	△8.5%	△7.7%	△2.2%	+1.7%	△4.6%

(注) 2010年8月にオープンした米国店舗を除いて集計しております。

既存ローンの借り換えと資産等の推移 (連結)



◆既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 予定	2014年3月期 予定	2014年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約159億円	約308億円	約54億円	約240億円	約53億円
進捗状況	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	(注) ②参照	既存借入先を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注) ①上記の借り換え額は、連結子会社を含む当社グループ全体の金額です。

②2013年3月期の借り換え額 (約54億円) の進捗状況 ⇒ 約32億円 (各金融機関と合意済み)

③2014年3月期の借り換え額 (約240億円) には、メインバンクである三井住友銀行が組成し、その大部分の融資を実行したシンジケート・ローン (約162億円) が含まれております。

◆資産等の推移

(億円未満は切り捨て表示)

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,521億円	1,968億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	790億円	789億円
株主資本比率	37.2 %	39.5 %	33.5 %	34.1 %	31.3 %	31.3 %	40.1 %
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	257億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	787億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円	—	—
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	529億円

リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	273億円	280億円
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

(注) ①保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により、有利子負債に計上されます。

②2013年3月期計画には、現在計画に及び想定される既存店舗のセール・アンド・リースバックによる有利子負債の減少額を織り込んでおります。

中期経営計画 (2016年3月期まで)



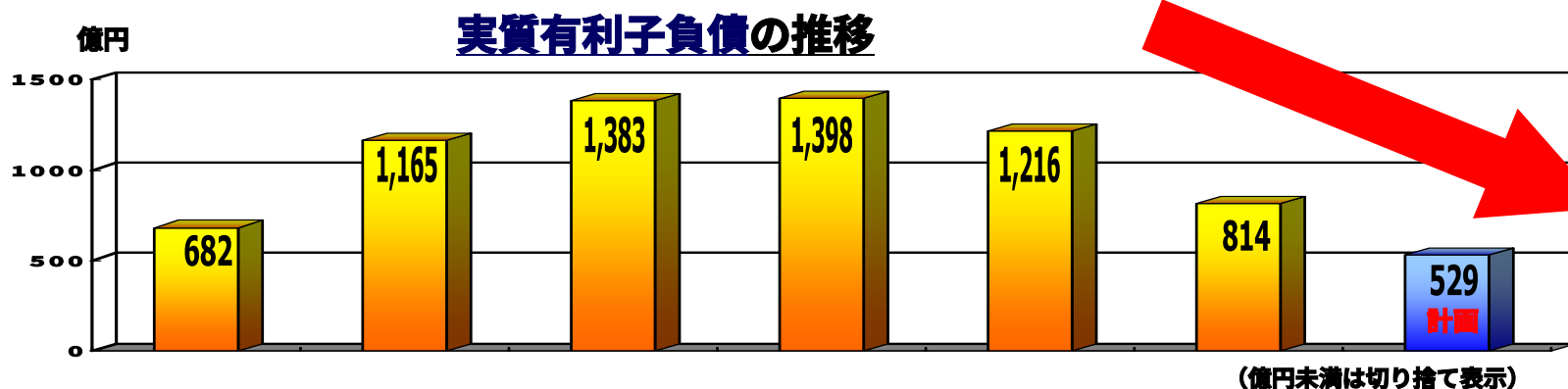
有利子負債の削減 (B/S)

◆セール・アンド・リースバック（店舗資産（土地・建物等）を売却と同時に賃借）の活用

年間返済額 約300億円：約定返済額 約100億円 + セール・アンド・リースバックの実行による返済額 約200億円

2016年3月期までに実質無借金体制へ

※セール・アンド・リースバック実行時に売却損が発生した場合、会計上の特別損失となり当期純利益が減少いたします（税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も）。また売却により得た資金が借入金残高よりも少ない場合は、手元資金の流出を伴う可能性があります。



	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	294億円	257億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,109億円	787億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円	—	—
実質有利子負債残高	682億円	1,165億円	1,383億円	1,398億円	1,216億円	814億円	529億円

経常利益200億円の達成 (P/L)

◆既存店舗の業績向上+新規出店により達成へ

- ・既存店舗の業績向上：2012年3月期実績を100として2016年3月期までに既存店売上が約107となれば達成が可能
- ・国内のショッピングモール等への出店と米国での展開により増益を加速

既存店舗対策 ①



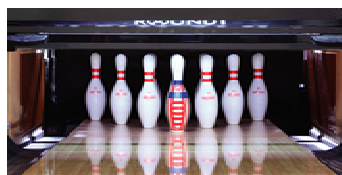
ボウリング

◆P★リーガー 竹原三貴プロと専属契約

- ラウンドワン各店舗でのチャレンジマッチ等を通じて、お客様との交流や広告塔として活躍中

◆「くいだおれ太郎」とのコラボ企画

- 「くいだおれ太郎ピン」を残してストラップINGET！



でたっ!!



達成!!

この状態になったら、2枚目を抜ける前に、スタッフに教えてね。

達成すると
プレゼント

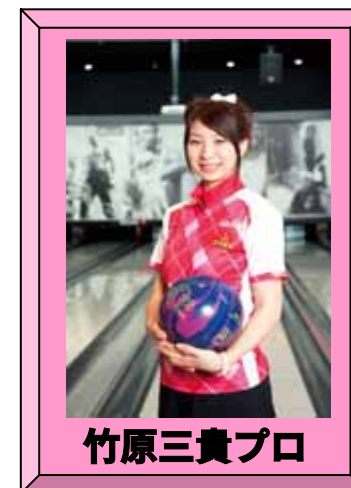


◆ ROUND1 JAPANCUP BOWLING 2012

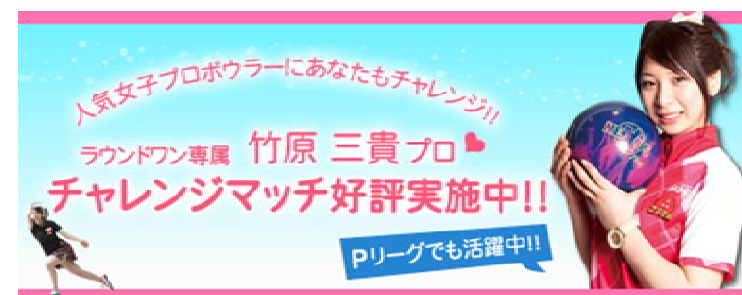
- アマチュア予選会開催中 (2012年2月～2012年9月)
- 2012年11月30日～12月2日の本大会には日米韓のトッププロがラウンドワンに集結

◆ ネットワーク対戦ボウリング

- カードホルダー数 ⇒ 300万人を突破 (2012年4月末:約327万人)



竹原三貴プロ



既存店舗対策 ②



アミューズメント

◆ラウンドワンだけの便利なサービス

- 座席についたままで、メダルの「預け入れ」や「払い出し」が可能に
- ラウンドワンのオリジナルサービス

ラウンドワンだけの
便利な新サービス(メッチャ)が始まりました!



◆話題の新型機種を導入

- 機動戦士ガンダム エクストリームバーサス フルブースト
(バンダイナムコゲームス)
⇒約8割の店舗へ導入済み
- DANCE EVOLUTION ARCADE (コナミ)
⇒約4割の店舗に導入済み
- ガンスリンガー ストラトス (スクエアエニックス)
⇒導入予定

◆メダル大抽選会

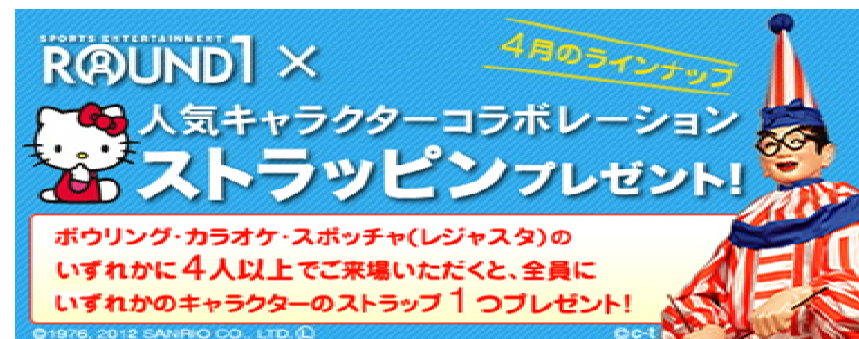
- 継続実施中

カラオケ

◆グループ来場者へプレゼント

- 4人以上でご利用 ⇒ 全員にストラップをプレゼント
- 6人以上でご利用 ⇒ 6人ごとにデカッピンを1つプレゼント
(団体割の利用者限定)

※ボウリング、スポッチャでも同様のプレゼント



◆人気キャラクタールーム

- 「ONE PIECE」や「ハローキティ」などの人気キャラクターをテーマにしたルームを設置(店舗により異なります)。

既存店舗対策 ③



スポッチャ

◆無料送迎バスの利用店舗を拡大予定

●全9店舗 ⇒ 全36店舗に拡大予定 (2012年夏頃を予定)

入間店	朝霞店	岡山妹尾店	堺中央環状店
上尾店	宇都宮店	熊本店	新潟店
習志野店	旭川店	札幌北21条店	札幌白石本通店
函館店	秋田店	郡山店	さいたま・栗橋店
板橋店	川崎大師店	長野店	金沢店
浜松店	豊橋店	半田店	名古屋西春店
みえ川越IC店	京都伏見店	和歌山店	高槻店
城東放出店	枚方店	高松店	小倉店
博多半道橋店	佐賀店	大分店	鹿児島宇宿店
沖縄・宜野湾店	(注) 習志野店は2012年6月末にて運行を終了予定		



◆新アイテムの導入

- ゴルフシミュレーション
- eスポーツグラウンド

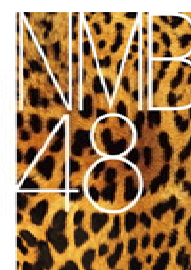


※上尾店、ダイバーシティ東京プラザ店に導入済み

広告宣伝

◆「NMB48」・「くいだおれ太郎」とのコラボ

●好評につきコラボ企画を継続

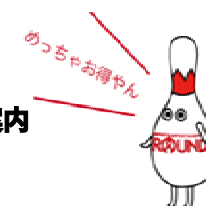


©NMB48

©c-t

◆メール会員制度「ラウポケ」

- 登録アドレス約200万人
- 「最新企画」や「お得情報」を配信
- 各店の支配人が自身のお店の最新情報を案内



今後の出店



2013年3月期オープン店舗

◆ 日本

オープン予定時期	店舗名／出店予定地域	店舗タイプ
2012年 4月19日オープン済み	ダイバーシティ東京 プラザ店 (東京都江東区青海：お台場フジテレビ本社ビル前)	スタジアム（スポッチャ含む）・ロードサイド (大型商業施設『ダイバーシティ東京 プラザ』内)
2012年 4月27日オープン済み	千日前店 (大阪市中央区難波：千日前通り沿い)	スタジアム（スポッチャ含む）・繁華街
2012年 12月下旬	(仮称) 池袋店 (東京都豊島区東池袋：サンシャイン60通り沿い)	スタンダード・繁華街

◆ アメリカ

オープン予定時期	店舗名／出店予定地域	店舗タイプ
2012年 夏頃	(仮称) モレノ バレー店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
2012年 冬頃	米国3号店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
2013年 春頃	米国4号店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・出店計画店舗につきましては、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・上記以外への新規出店は原則として凍結して財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合は、首都圏の大型ショッピングモール内や十分な収益が見込める物件に限り出店する可能性があります。

米国への出店



★ 米国店舗の現況と今後の展開

●2010年8月、第1号店をプエンテヒルズモールへ出店

・足元の売上高前年比は+5%強で推移

・2012年3月期の売上構成比 ⇒ アミューズメント 57.2%、ボウリング 20.8%、飲食 15.5%、カラオケ4.0%、その他2.5%

【既存店舗と今後の出店予定】

	オープン（予定）時期	店舗名／地域	店舗タイプ
1	2010年8月	プエンテ ヒルズ モール店 (カリフォルニア州 ロサンゼルス)	ロサンゼルス中心街より東へ車で約30分 プエンテヒルズモール内 http://www.puentehills-mall.com/
2	2012年 夏頃	(仮称) モレノ バレー店 (カリフォルニア州 リバーサイド)	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
3	2012年 冬頃	米国3号店 / カリフォルニア州 リバーサイド	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)
4	2013年 春頃	米国4号店 / カリフォルニア州	スタンダード・ロードサイド (大型モール内)

●1店舗当たりの設備投資予定額・・・約5億円（うち約2億円はファイナンス・リースを活用予定）

★日本と米国のボウリング市場

	日本	米国
市場規模	約820億円	約70億ドル (約5,600億円；US\$=¥80)
センター数	約900センター (ほぼ民営のみ)	約5,350センター (民営：約4,800センター／その他 (軍・教会等：約550センター)
レーン数	約25,000レーン	約111,000レーン
参加人口 (1年に1回以上ボウリングをする人口)	約1,780万人	約7,100万人

【米国のボウリング市場の現況】

- 大手2社（Brunswick、AMF Bowling）が約400店舗、準大手が約50店舗程度を運営しており、その他のほとんどは家族経営のセンターである。
- 不況時に強く、ここ数年間は安定成長を継続している。
- 古いタイプのボウリング場は年々閉鎖され、ボウリング以外のアイテム（ゴーカート、アーケードゲーム、ミニゴルフ等）で複合化された店舗が年間20～50店舗程度建設されている。
- 他のレジャー（ゴルフ、釣り、テニス、ビリヤード、サイクリング、ローラースケート、アイススケート、マラソン）に比べて参加率が非常に高い。
- 身近な社交の場として、平均所得者以上の層の利用割合が増えている。

（『レジャー白書2011』を参考に当社による推定値を記載）

2013年3月期 全社売上と既存店前年比の計画



◆全社売上計画（連結ベース）

（単位未満は切り捨て表示）

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	億円	75	81	156	68	93	162	319
アミューズメント	億円	85	96	181	85	92	178	359
カラオケ	億円	18	21	40	20	23	43	83
スポッチャ	億円	23	28	52	21	32	54	106
その他	億円	7	8	16	7	8	15	31
総売上	億円	211	235	447	203	249	453	900

計画

◆既存店売上前年比計画（単体ベース：米国店舗を除く）

（小数第2位を四捨五入）

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	%	△10.1	△6.7	△8.4	△4.7	△1.5	△2.9	△5.7
アミューズメント	%	△10.1	△7.4	△8.7	△5.5	△2.5	△4.0	△6.4
カラオケ	%	△7.7	△6.3	△7.0	△2.3	+0.5	△0.9	△4.0
スポッチャ	%	+0.5	+4.5	+2.6	+6.6	+10.4	+8.9	+5.7
その他	%	△4.0	△3.2	△3.6	△4.8	△4.0	△4.4	△4.0
総売上	%	△8.6	△5.6	△7.1	△3.8	△0.3	△1.9	△4.6

計画

店舗の状況



◆出退店の推移

	出店数		退店数		期末 総店舗数
	日本	米国	日本	米国	
～2004年3月期	45		※① 4		41
2005年3月期	6				47
2006年3月期	11				58
2007年3月期	15				73
2008年3月期	11		※② 1		83
2009年3月期	※② 13		※① 2		94
2010年3月期	11				105
2011年3月期	3	1			109
2012年3月期	1				110
2013年3月期（予定）	3	3			116

期末総店舗数の内訳				
日本				米国
スタンダード		スタジアム		スタンダード
繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド	ロードサイド
7	34	-	-	-
8	34	-	5	-
8	34	-	16	-
8	34	-	31	-
8	34	-	41	-
7	45	-	42	-
7	55	-	43	-
8	57	-	43	1
8	58	-	43	1
9	58	1	44	4

※① 6店舗の退店理由（契約期間の満了：4店、近隣に大型店を新築：1店、テスト店舗の閉鎖（テスト期間 約2年）：1店）

※② 2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に完全に建て替えを行い、新築リニューアルオープンしております。

◆エリア別店舗数（2012年4月末現在）

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	33	14	31	8	11	1	112
シェア	8.9 %	3.6 %	29.5 %	12.5 %	27.7 %	7.1 %	9.8 %	0.9 %	100.0 %

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

◎【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

◎【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

• docomo <http://www.round1.co.jp/mobile/>

• Soft Bank <http://www.round1.co.jp/mobile/>

• au <http://www.round1.co.jp/mobile/>



※ 携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意ください。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 Tel (072)224-5115